



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	表紙・目次
Citation	哲学, 56
Issue Date	2024-12-13
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/95641
Type	other
File Information	56_Cover.pdf



哲 学

第 56 号

2024

千葉恵教授 退職記念号

千葉恵教授 略歴と業績	(1)
意味論的分析によるローマ書 3 章 21-31 節と贖罪論	上沼 昌雄 (7)
苦悩と信仰——フランクルの意味の理論における実存的決断について	雨宮 徹 (31)
「豚の国」で生きるということ	茶谷 直人 (45)
精神療法における「とらわれ」からの脱却：東洋的方法（森田療法、内観療法）と 西洋的方法（マインドフルネス、コンパッション）.....	新村 秀人 (67)
アリストテレスの推論研究における弁証術の位置づけについて： 『分析論前書』A 巻とプレディカビリア	北郷 彩 (87)
アリストテレスの自然目的論 ——端的必然性と条件的必然性の両立可能性——	井村 直道 (113)

書評論文

『信の哲学』に基づく福音理解の試み ——代償刑罰説は哲学者パウロに調和的か——	浅香 力 (137)
--	------------

Discussion Paper

Philosophical Methodologies of the Greek Philosophers.....	Joseph KARUZIS (157)
--	----------------------

北海道大学哲学会会則 (13) 欧文要旨 (I)

北海道大学哲学会